

令和 3 年度

プロジェクト業務報告書

図書館・学生インターンシップ

名古屋女子大学 家政学部食物栄養学科 4 年

1. 背景

図書館・学生インターンシップの後期の就業では、通常の図書館での業務に加えて学生が主体となって様々な観点から図書館をよりよくするプロジェクト業務を行った。10月から月一回、当月の就業者が集まって企画会議を行った。前期を通して業務をしてきたうえでの気づきや問題点を話し、業務課題をまとめることでインターン業務の中で実行し課題を解決していった。

2. プロジェクト業務

10月の企画会議では主に4つの業務課題があげられ、11月からはそれらの課題を継続し1月の終業に向けて活動していった。以下は4つの課題と実際に行ったプロジェクト業務並びに改善点である。

① アンケート調査

企画会議では、図書館利用者がどこに図書があるかわからないと感じていることがわかり、具体的に所在がわからない図書がどのジャンルの本なのかをアンケートを行った。アンケートでは、集計ポストを設置することで長期的に情報を集め、ホワイトボードにアンケート内容を記載して即時に情報提供することを目標とした。

<業務中に行ったこと>

- ・ポストの飾りつけ
- ・ホワイトボードの飾りつけ
- ・ポスト用アンケートの作成

<完成写真>



②学部別案内

コロナ禍において、特に新入生では図書館の利用方法が十分に理解しておらず、利用頻度も低いことから、自分の在籍学部の図書の場所がわからないのではないかという意見が多く出た。そのため、各学科ごとにロゴを作成し、関連図書の本棚に貼るプロジェクトを行った。また、必要な図書を見つけ出しやすいように館内入り口の図書館内マップにも縮小したロゴを貼ることとした。

複数名で同じような雰囲気のロゴが作成できるように、大きさや文字やイラストのイメージは随時共有ノートを参照して緻密に確認しあった。

<業務中に行ったこと>

- ・ロゴの作成
- ・ロゴの加工（ラミネート加工）
- ・本棚への貼り付け
- ・シラバス参考図書などへの貼り付け

<完成写真>



③展示・装飾

もっと利用したいと思う図書館にするため、季節感のあるテーマに合わせて本を集めて展示することとなった。その中でも特に展示したいと思う本にはPOPを作成し、配下場所には季節感のある装飾を行った。また、11月のプロジェクト業務からは台紙としてポスターを作成し、館内に設置した。10月のテーマは「ハロウィン」、11月からは「各学部お役立ち BOOK 〇〇編」をテーマとした。

<業務中に行ったこと>

- ・季節感のある図書の収集
- ・推薦したい図書のPOP作成
- ・実際に展示した図書のリスト作成

<完成写真>



④絵本コーナー改善

絵本コーナーで図書を探すのが難しいという意見があり、書架の並べ替えを行った。またより本を見つけやすくするために、現行の絵本タイトルの頭文字 1 文字目の見出しを、2 文字目までの見出しと変更した。

<業務中に行ったこと>

- ・書架の並べ替え
- ・タイトル 2 文字目までの POP 作成

<完成写真>



3. まとめ

私は4年間学長特別奨学生の「はぐくむ図書館」部門として図書館を様々な面からよりよくしようと取り組んできたが、この一年間が最も充実してプロジェクトに取り組むことができた。奨学生一丸となって利用者目線で考えたことで気づいたことが具体的な改善につながっていったと感じた。他学部の人が感じている問題点も知ることができたため、プロジェクト業務を進めるうえで統一感のある課題を設定できた。

プロジェクト業務全体を通して改善できると思った点は、連絡ノートでの意見交換であった。各就業日に取り組んだ内容について記載していたが、それだけでは不十分であると感じたため、全員が次何を進めたらいいか記載するとスムーズではないかと思った。実際に1月のプロジェクト業務の仕上げに入る際に企画会議に参加できなかった人や就業が久しぶりの人が何に取り組んだらよいか理解していない人がいた。限られた時間の中で一人ずつ進めていかなくはならないため、連絡の伝達がもっと円滑になるとよいと感じた。

4年間この図書館を利用してきてとても快適であったため、来年度以降も新しいプロジェクトでより楽しく発見が大いにできる活気ある図書館を後輩には作り上げてほしいと思った。

以上